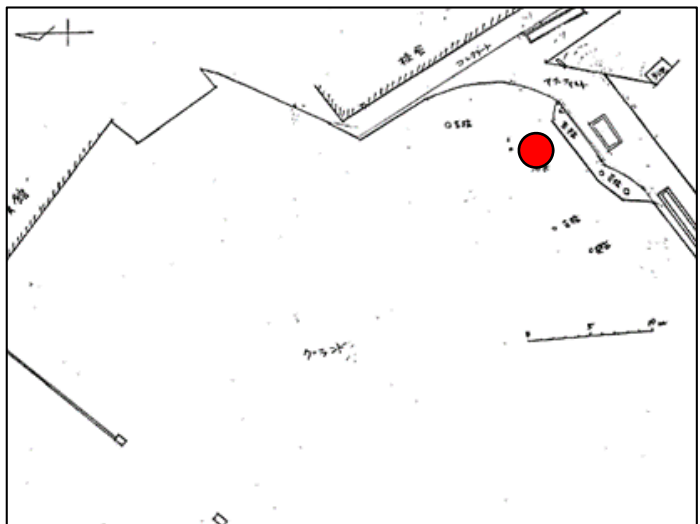


### 瀬喜田小学校のセンダン



国土地理院 地理院地図 (電子国土 Web)



認定番号 116

樹種名	センダン	科名	センダン科	方言名	シンダンギー	学名	Melia azedarach L.						
形状・寸法	樹高 9.2 m	胸高周囲 4 m	根本周囲 4.3 m	樹幹占有面積 387 m <sup>2</sup>			最大樹冠幅 23.1 m						
	枝下高 1.3 m	枝張 東 10.3 m	西 11 m	南 13.7 m	北 9.4 m								
通称	瀬喜田小学校のセンダン		樹齢	年(推定)		所有者	1 国 2 県 ③ 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明						
所在地	名護市幸喜4-1					状況	① 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他						
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 ⑤ 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他 (史跡)						気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 ③ 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹(村文化財 1997年3月指定) 6 名木 7 その他 8 なし					(最寄りのア メダスタータ)		平均気温(°C)	16.0	16.1	18.6	21.8	24.5
	周囲の状況	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 ⑧ その他 (校庭)					風向	NW	S	SSW	SSW	S	S
土地傾斜		① 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:					2015年	月	7月	8月	9月	10月	11月
	土壌	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 ④ 客土 5 その他 ( )						地点:名護	平均気温(°C)	28.8	28.6	27.5	24.8
基岩・母材							潮風の影響	年平均気温	23.1 °C		最高気温	33.9 °C	
	地形	1 山地 2 丘陵地 3 台地 ④ 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪窪 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他						年降水量	1595 mm		最低気温	7.7 °C	
土性		① 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない					日照条件	① 1 なし 2 ややある 3 ある ④ やや強く受ける 5 強く受ける(特記)					
	根元及び周囲の植生	草本 1 密生 2 疎 ③ なし 低木 1 密生 2 疎 ③ なし						周辺樹木の影響	① 1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良 ① 1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))				
管理状況		1 柵 a 有 ⑥ 無 (有の場合の高さ m、材質 ) 柵内面積 ( m <sup>2</sup> ) 設置年 2 支柱 ⑥ a 有 b 無 3 剪定 a 強 ⑥ b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 ⑥ b 無 (有の場合 回数 種類 ) 5 薬剤散布 a 有 ⑥ b 無 (有の場合 回数 種類 ) 6 解説板 ⑥ a 有 b 無 7 避雷針 a 有 ⑥ b 無 8 定期的な草刈・掃除 ⑥ a 有 b 無 9 その他					周辺樹木の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 ③ 3 固結している ⑥ a 踏圧あり b 踏圧なし					
	過去の治療歴と内容												
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 ⑥ b 無 5 いわれの内容 6 不明												
視認性	① 1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由 )												
特記事項	1 動物生息 a 有 ⑥ b 無 (有の場合動物の種類 ) 2 着生植物 a 有 ⑥ b 無 (有の場合植物の種類 ) 3 見学・参観者 a 有 ⑥ b 無 (有の場合その数) 4 その他 観光スポット												

地上部の衰退度判定（認定番号116）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く、胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 0.64

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

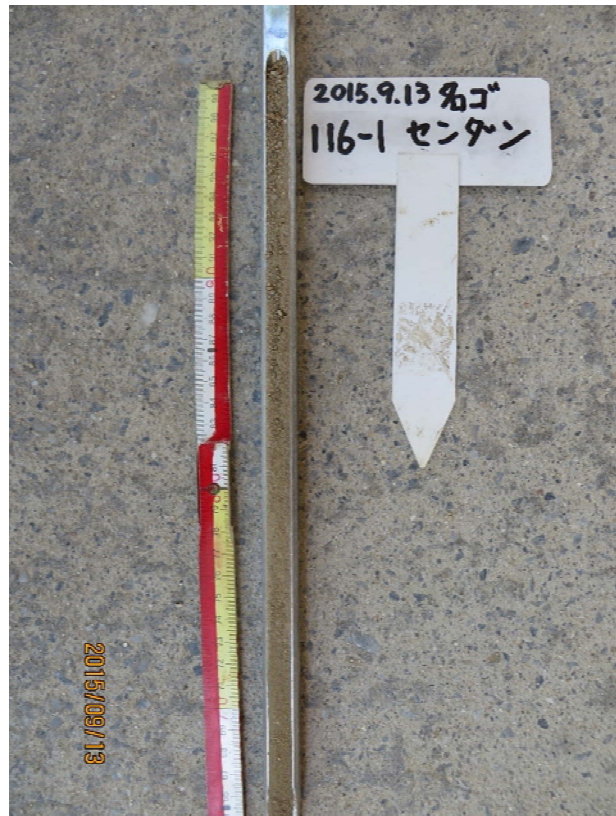
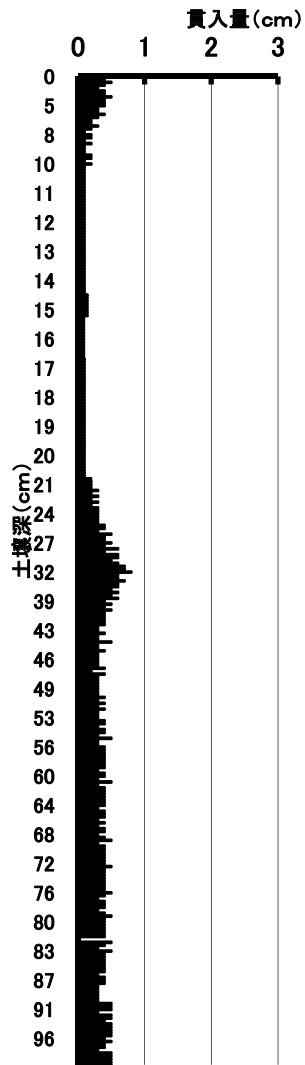
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下	○			
幹の傾斜の増大	○			
その他（ワイヤロープ）	○			

土壤調査結果（認定番号 116）

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	10YR7/3	0-6	—	砂土	8.9	1.0
II	10YR6/3	6-24	—	砂土		
III	10YR5/3	24-	—	砂土		

土壤貫入量結果



瀬喜多小学校のセンダン

部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂質の土壌で、通気性、排水性に富む。</li> <li>・土壌深は 1m 以上である。</li> <li>・0～25cm までは踏圧により著しく固結している。</li> <li>・pH、EC はそれぞれ 8.9、1.0(dS/m)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏圧防止のための保護柵の設置を検討する。</li> </ul>
根	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼棒貫入異常は見られない。</li> <li>・南側高さ 2m に瘤状の露出根が見られる。その上部は樹皮が欠損しているが、特に異常は認められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・露出根保護のため、立ち入りの制限を検討する。</li> </ul>
幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹皮の活力は良好である。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側高さ 80 cm に縦 32 cm、横 20 cm、深さ 20 cm の開口空洞があり、腐朽が進行する可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部を掻き取り、殺菌処理したうえで、パテ等で埋める等の外科的処置を検討する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側高さ 1.5m に 40 cm × 40 cm の瘤がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瘤は生理的なものであり、特に対処しない。</li> </ul>
枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枝基部に亀裂が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な観察を検討する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空洞化している中枝が残っている。</li> <li>・小枝の枯れが目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強風時に落下する可能性があるため、児童父兄に対する注意喚起が望まれる。</li> </ul>
葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝葉の密度がやや低い、特に問題はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無し</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸から約 100m、海岸方向に開けており、北側は丘と校舎で防護されている。</li> <li>・支柱の設置方法は合理的であるが、一部に機能しないワイヤーがある。</li> </ul>	

